

# 【結核クイズの答えと解説】

No.	結核クイズ	正解
1	肺結核はどのように感染しますか。(あてはまるもの全てに○) ア. 血液感染 <b>イ. 空気感染</b> ウ. 接触感染    エ. 経口感染	
2	結核を発症した患者さんと接触があった場合、一般的に検査を行う適切な時期は以下のうちどれだと思いますか。(○は1つ) ア. 接触した直後    イ. 接触の2週間後 <b>ウ. 接触の2～3か月後</b> エ. 接触の半年後	
3	結核に感染することと、発病することの違いを説明できますか。(○は1つ) ア. できる    イ. どちらかといえばできる    ウ. どちらかといえばできない    エ. 全くできない	
	<b>○ × クイズ</b>	
4	最近の結核患者の6割以上は高齢者(65歳以上)である。	○
5	結核の症状は、微熱や食欲不振が続くことだけの場合もある。	○
6	結核患者が使用した衣服や食器、寝具は処分や消毒する必要がある。	×
7	結核の感染を拡げないために患者にマスクをしてもらうことは有用である。	○
8	結核の薬は一般的に2週間程度内服する。	×
9	結核は、インフルエンザやノロウイルス程に感染力は強くない。	○
10	退院して服薬治療をしている結核患者の痰の中には結核菌がまだたくさんいる。	×
11	結核に感染しても、実際に結核を発病する人は1～2割である。	○
12	昔、結核の治療をしたことのある人は、二度と結核を発病することはない。	×
13	結核を発見するためには胸部X線検査が有効である。	○
14	結核の症状は、必ず咳を伴うものである。	×
15	BCGの予防接種を受けていれば、結核に感染することはない。	×
16	結核が疑われる人の介護は、結核がうつらないようガウンや手袋を着用する必要がある。	×
17	結核の薬は、周囲への感染の危険性がなくなった後も飲み続ける必要がある。	○
18	喫煙する人は、しない人に比べ、感染や発病の危険が高くなる。	○
19	糖尿病や胃がんの既往がある人は、ない人に比べて感染や発病の危険性が高くなる。	○
20	結核患者は痰の中の検査をしてほとんど菌がない状態で退院する。	○
21	結核の薬の服用を患者個人の判断で中止すると薬が効かなくなることがある。	○
22	退院後の結核患者が施設入所する場合、隔離や治療器具などの特別な対応が必要なこともある。	×

## 感染と発病

- 結核と診断された17,625人のうち65歳以上が7割を占める(2017年)  
茨木保健所管内では新規結核登録患者51人中65歳以上は35人で約7割を占める!
- 結核は空気感染です。  
結核菌の混ざったしぶきが咳やくしゃみと一緒に飛び散り、それを吸い込むことで感染します。
- 結核の感染と発病は違います。  
感染しても必ずしも発病するとは限りません。感染していても発病していなければ周りにうつりません。

結核は高齢者に多い病気なんだね!



## 症状

- 結核の主な症状は、タンのからむ咳や微熱、身体のだるさが2週間以上続くというものです。  
ただし、高齢者の場合、食欲がない、体重が減ってきた、いつもより元気がないだけの事もあります。早めの受診が大事です!

受診しても、治りが悪い時は胸部レントゲン検査を依頼してくださいね。



## 治療

- 結核は内服治療が基本です。  
薬を何種類か組み合わせて、6か月以上飲みます。  
その人の状態によって入院が必要な場合もあります。
- 内服開始後約2週間で症状はなくなり、約1～3か月で人にうつさなくなります。
- 途中で薬をやめると、結核菌が薬に強くなってしまい治りにくくなります。



人により使う薬や飲む期間は違うよ!



## 対応

- 結核は空気感染なので、衣類や寝具、食器の消毒や廃棄は必要ありません。
- 咳が出ている人は周りにしぶきや飛沫が飛び散らないようにマスクを着用してください。  
結核を予防するためには気密性の高いマスク(N95マスク)が有効です。
- 患者が発生した場合  
接触状況を調査し、2～3か月後に必要な人に健診をします。  
【健診項目】  
胸部エックス線検査  
結核の発病の有無を調べる検査です。  
IGRA(イグラ)検査  
結核の感染の有無を調べる検査です。血液検査(採血)です。



N95マスク

結核の患者さんと接触があっても、慌てる必要はないんだね。

